

2022.06

ヘルメット取付資料

B+COM
PLAY

X

SHOEI®

GT-Air II



取り付け前の準備

1 | 取付準備



SHOEI ヘルメット [GT-Air II] の
B+COM PLAY 取付方法をご紹介します。

2 | B+COM PLAY の準備

画像を参考に B+COM PLAY 1 キット分を
用意します。

3 | パッド取り外し



ヘルメットの左右イヤーパード、左側チーク
パッドを取外します。

※内装の脱着に関しましては、ヘルメットの
取扱説明書をご参照ください。

スピーカーの取り付け

4 | 面ファスナー貼付



左右のイヤースペースへ、「スピーカー固定用面ファスナー」を貼り付けます。

5 | 調整パッド貼付け



耳とスピーカーとの隙間が生じやすいため「スピーカー調整パッド」を1枚貼り付けることをおすすめします。

※個人差があるため、必ず調整してください。

6 | 右側スピーカー取付け



スピーカーを取付けます。
イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツです。



B+COM を快適に使うコツ

7 | スピーカー配線



ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。

8 | スピーカー配線 2



内装の反対側にも、同様に配線を通します。

9 | スピーカー配線 3



配線を通したら、ホックを戻します。

10 | 面ファスナー貼付け



左側も同様に、「スピーカー固定用面ファスナー」を貼り付けます。

11 | 調整パッド貼付け



必要に応じて「スピーカー調整パッド」を貼り付けます。

12 | 左側スピーカー取付け



左側スピーカーを貼付けます。
イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツ**です。

13 | 配線収納



配線はチークパッドの裏側に収納します。
無理な角度には曲げず、スピーカーユニットの分岐部に負担がかからないようにご注意ください。

マイクの取り付け

14 | マイク接続



マイクを使用する場合は、スピーカーユニットコネクタ部のガイドにあわせて、ワイヤーマイクを接続します。

15 | マイク接続 2



ワイヤーマイクを接続した状態。

16 | マイクスポンジ貼付け



ヘルメットのチンガードの裏側へ、ワイヤーマイクスポンジを貼り付めます。

17 | マイク差込み



集音部 (穴の空いている面) が口元を向くようにして、ワイヤーマイクをスポンジへ差し込みます。

18 | マイク配線



配線が無理な角度に曲がらないように、整えておきます。

ホックなどの構成部品に配線 (特に分岐部やコネクタ部分) が噛みこまないよう、チークパッドと帽体の隙間に収納するのがおすすめです。

ヘルメットアタッチメントの取付け

19 | アタッチメント準備



B+COM 本体、面ファスナー、ヘルメットアタッチメントを用意します。



B+COM ヘルメットアタッチメント SHOEI 用
製品情報

20 | 貼付け面の脱脂



付属のアルコールシートを使用して、ヘルメットアタッチメントとヘルメットの貼付け面をそれぞれ脱脂します。

21 | 面ファスナー貼付け



ヘルメットアタッチメントへ、本体固定用面ファスナーを貼り付けます。

22 | 面ファスナー貼付け位置



面ファスナーは、画像の2箇所ある矢印にあわせて貼り付けます。

23 | インカム装着用カバー



ヘルメット左側のインカム装着用カバーを取外します。

※脱着手順に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。

24 | インカム装着用カバー 2



インカム装着用カバーを取外した状態。

※脱着手順に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。

25 | アタッチメント貼付け



アタッチメントの剥離シートを剥がし、ヘルメットの形状に合わせて貼付けます。

26 | 貼付け後の注意



これでベースプレートの取付けは完了です。

※接着硬化まで約 24 時間を要します。完全に接着されるまでご利用しないでください。

本体の取り付け

27 | 本体貼付け



ヘルメットアタッチメントへ、
B+COM PLAY 本体を貼付けます。

28 | チークパッド取付け



内装のすき間からスピーカーの配線を取り出し、チークパッドを戻します。その後、スピーカーコネクタと本体を接続します。

※スピーカーの配線が折れ曲がらないようにご注意ください。断線につながる恐れがあります。

29 | 配線収納



アタッチメントのケーブルホルダーを利用すると、配線がきれいに格納できます。

30 | 取付け位置



スピーカーケーブルがヘルメットのフチに沿った状態で、ある程度配線に遊びがある状態が理想的な取付け位置です。

※コネクタがアタッチメントの下端より出してしまうと、床などに置いたときに当たってしまい破損の原因になります。

31 | 取付け位置 2



別の角度から見た状態。

32 | 完成



以上で完成です。